

流域は未曾有の洪水に襲われた



川内川出水状況：宮都大橋（さつま町）

3市2町で甚大な被害が発生

川内川の上流から下流に至る3市2町（薩摩川内市、さつま町、伊佐市（旧大口市、旧菱刈町）、湧水町、えびの市）の136箇所で浸水被害が発生。浸水面積約2,777ha、浸水家屋2,347戸に及ぶ甚大な被害となりました。



①薩摩川内市南瀬地区



②さつま町柏原地区



③旧菱刈町荒田地区



④旧菱刈町前目地区



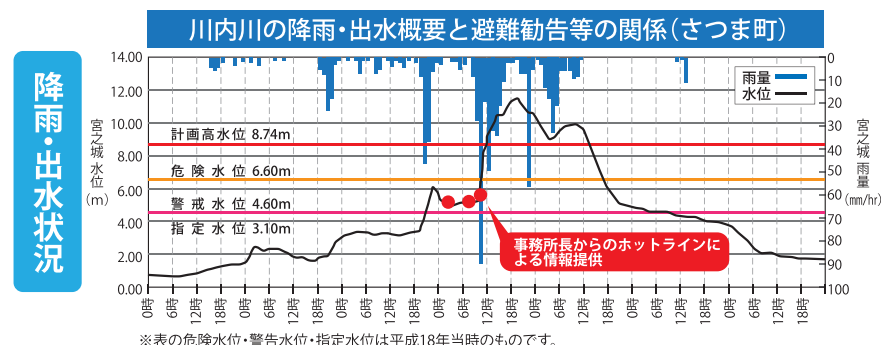
⑤湧水町中津川地区

浸水家屋 約2,300戸
浸水面積 約2,800ha

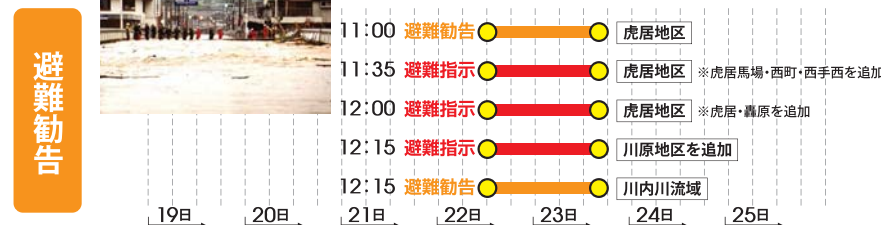
		床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	浸水面積(ha)
薩摩川内市		91	39	832
さつま町		850	89	302
伊佐市	旧大口市	165	43	665
	旧菱刈町	67	26	318
湧水町		446	123	450
えびの市		229	179	210
合 計		1,848	499	2,777

約5万人にも及ぶ住民に、避難勧告・避難指示を発令

流域3市2町では、洪水予報や川内川河川事務所長から各首長への河川や降雨に関する情報提供ホットラインなどをもとに、住民約5万人に対し避難勧告、避難指示を発令しました。しかし、逃げ遅れて孤立する住民も多く、さつま町虎居地区をはじめ各地で救助要請の連絡が入り、消防本部や自衛隊により救命ボートなどでの救出活動が行われました。



※表の危険水位・警戒水位・指定水位は平成18年当時のものです。



※事務所長からのホットラインによる情報提供とは、避難勧告等を判断する水位などの情報について、国土交通省河川事務所長から首長へ直接伝達すること



流木が折り重なる宮都大橋



浸水したさつま町宮之城市街部



さつま町における避難誘導活動

国土交通省からも、様々な支援活動を展開

鹿児島県・薩摩川内市・さつま町に対し、国土交通省職員を計8名派遣し、自治体を支援。また、川内川沿いで内水が発生した8箇所に計10台の排水ポンプ車、6台の照明車を派遣し、被害の軽減に努めました。



稼働中のポンプ車（里樋門）



稼働中のポンプ車（下手排水樋門）



照明車の活動状況